

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	生活道路(市道)改良事業					継続			
コード	68	-	23	-	02	-	00	予算事業名	生活道路(市道)改良
担当部署	建設部	道路建設課			-	予算事業コード	会計 10 款 08 項 02 目 03		

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 法令による実施義務

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	道路法・道路構造令・租税特別措置法・収用法・騒音及び振動規制法等
方向性(節)	2節	交通ネットワークの構築	個別計画等の名称	なし
施策	1	道路交通体系の整備		
細施策	3	市道生活道路の整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	道路利用者を対象に集落地内の適切な土地利用を促進し、地域の防災力を強化するなど、安全で安心な生活環境の形成・維持を目的とする。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	測量及び設計を業務委託して、平面図作成のための説明会を開催し、次に線形説明会で住民より計画線について了承を得た後、幅杭設置及び事業用地面積を確定し物件調査を実施。それにより用地買収・物件補償(契約)の同意を経て改良工事を実施する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		727,093	661,510	449,845	455,073	450,350	
事業費	A	709,441	567,371	412,273	455,073	450,350	500,000
	B	75,332	56,388	70,596	65,490	64,454	65,342
総コスト(C=A+B)		784,773	623,759	482,869	520,563	514,804	565,342
正規職員(1年間の従事人数)		10.18人	7.62人	9.54人	8.85人	8.71人	8.83人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	0	0	0	0	0	0
市の財政負担(=C-D-E)		784,773	623,759	482,869	520,563	514,804	565,342

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

活動	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
活動	測量・線形計画数	件	14	12	5	3	1年間の策定件数
活動	計画説明会数	回	2	2	2	2	1年間の実施回数
活動	用地買収	m ²	7,156.4	4,910.2	5,012.6	2,198.9	1年間の買収面積(当該年度)
活動	道路改良工事整備延長	m	1,779.3	1,935.4	2,639.0	2,753.3	1年間に行った工事延長(当該年度)
中心指標の考え方		本事業は、活動指標を中心に評価する。					
指標に基づく評価		集落地内の適切な土地利用を促進し、地域の防災力を強化するなど、安全で安心な生活環境の形成・維持を目的とするといった広範囲の内容のため成果指標は設定が不可能、また地域からの要望路線は多いので、順次実行しているが、陳情・要望の未処理分が減らない。					

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	公平性に課題
本事業は、自治会等を通じて提出される陳情・要望に基づき行う道路整備であるが、陳情・要望の件数に予算が対応できない状況である。今後は、地元及び関係機関と協議し、費用対効果等により優先路線の選定を考慮する必要がある。	
(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	具体的な調査実績はない。
(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	総合計画の中で「道路交通体系の整備」に掲げられており、道路交通体系に基づき、地域における生活道路の整備を図りつつ、歩行者が安心して歩ける道路づくりのために、本事業は、重要な役割を担っているため、その計画が大きく後退する。
(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
市民のニーズも高く、各地域からの要望も多い道路であり、継続的な整備が望まれる。日常生活上や通学路など安全に安心して通行できるよう整備進捗を図りたい。	